



～ 平田ロータリークラブ 週報 ～ No.1932 (平成26年4月24日)



2013-2014 年度

国際ロータリー会長 / ロンド・バートン
2690地区ガバナー / 森本 信一

会長 / 飯塚 大幸 副会長 / 内田 節夫
幹事 / 佐々木哲也 会計 / 石原 輝男

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
4月24日	河原・加藤喜・原泰会員	地区研修・協議会報告
5月1日	休会	
5月8日	愛宕山 山上 6:30 ~	早朝例会
5月15日	島根県葬祭業協同組合 副理事長 大崎 昇 様	葬祭事情と3.11から学ぶ事

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
43	30	13 (6)	81.08 %	94.50 %

■欠席者 ■

原孝 / 三好 / 持田祐 / 板垣 / 土江 / 石原俊 / 園山
(山根 / 牧野 / 木村 / 田中久 / 伊藤 / 遠藤)

■来訪者 ■

なし

■メイクアップ ■

4/20 飯塚大・佐々木・内田・黒田・河原・大島卓・大谷・恒松
福田 (出雲)

■次回例会受付当番 ■

(5月15日) 福田磨寿穂 / 釜屋治男 / 加藤 昇
(5月22日) 三好洋平 / 加藤喜久 / 黒田昌弘

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央	松江南
火	出雲 6/24	松江しんじ湖 6/17 6/24(休)
水	大社 4/30(休) 5/7 5/14(休) 6/4 6/18	松江 4/30(休) 5/7(休) 6/18 6/25(休)
木		松江東 6/19 6/26
金	出雲南	

■会長挨拶 ■

「次年度地区研修協議会報告」

4月20日、出雲ロータリークラブ60周年記念式典がありご出席の方には大変お疲れ様でした。

平田40周年に勝るとも劣らぬ(平田がもちろん)素晴らしい式典でした。さすが長い歴史を誇る出雲さんだけあり、まず台湾の姉妹ロータリークラブのメンバーが20名くらいも参加する国際色豊かなものであり、アトラクションも地元のクラシック音楽家による上品なものでした。会場で出会う方の多くの方々は、平田の40周年にお越しいただいた来賓の皆様であり、クラブメンバーであり、私にとっては頭を下げて回るさながらお礼行脚の記念式典でもありました。

来週は休会、再来週は早朝例会(愛宕山公園)、しばらく濃密なメンバーの集いありませんが、家庭集会も開催されておりますのでよろしく願います。本日も先週に引き続き、次年度に向けて地区協議会報告です。次年度に向けてより一層志気を高めて参りましょう。

■幹事報告 ■

1. 例会変更

- 松江 RC 6月18日(水) 最終夜間例会
ビジター受付 定刻(12:00~12:30)定例会場(ホテル一畑)
- 松江しんじ湖 RC 6月17日(火) 夜間例会
ビジター受付 定刻(12:00~12:30)定例会場(すいてんかく)

2. 休会

- 松江 RC 5月7日(水) 定款第6条により
6月25日(水) 〃
ビジター受付 定刻(12:00~12:30)定例会場(ホテル一畑)
- 松江しんじ湖 RC 6月24日(火) 定款第6条により
ビジター受付 定刻(12:00~12:30)定例会場(すいてんかく)

■スマイル ■

飯塚大 (4/20 出雲 RC 60周年があり、ご参加の皆様お疲れさまでした。本日の地区研修・協議会報告よろしくお願ひ致します。)

佐々木 (4/20 出雲 RC 60周年記念式典に出席の皆さん、お疲れさまでした。

4/29 旅伏山上にある都武自(つむじ)神社の例大祭で当番町内を務めるため朝から山に登ります。)

園 (皆様ご苦勞様です。本日所用ありましてお先に失礼させていただきます。)

■スピーチ・例会行事 ■

「地区研修・協議会報告」

クラブ奉仕部門

河原治子

特に直接的な話はありませんでしたが、地区研修・協議会と新しく変更されました。部門に分かれて研修をしました。原孝士会員と河原治子会員がこの部門の出席者です。この部門は職業奉仕、クラブ奉仕、国際奉仕、社会奉仕、4つ合わせたグループです。

特に部門の話ではなく全体的なものをまとめて話されました。

A重点目標

- ・ロータリーの理解 → 真意とまごころの奉仕
- ・会員の増強
- ・ロータリーカードの活用

未来の夢計画を利用しない人の信義あり

防災について交流会、玉島ロータリークラブの方、災害者の交流会(婦人も)

平田から益田まで3時間かかりましたが、高砂会員のみなさんへのサービス精神に脱帽しました。



ロータリー財団部門

加藤喜久

まず初めて奉仕プロジェクトを申請された内の2クラブを紹介し発表されたがいずれも社会奉仕委員会が行なった事業で、財団委員会はいくまで補助金申請の窓口である。次に地区の重点目標の内、財団に関するものが説明された。

- ① End polio now への参加。 地域で広報・募金活動を実施。
今までの生ワクチン(100円/人)を不活化ワクチン(10,000円/人)に切り替え。年間11億ドル、5年間で55億ドルで根絶に。その内、世界中のロータリアンが1年間で100ドル、5年で500ドル必要。
ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムであり、撲滅の認定がされるまでは、他のすべてのプログラムに対して優先される。
- ② ロータリーカードの活用。 保有枚数を1,300枚に(今年2月末1,108枚)。地区内のカード保有者は、日本で第一位。
- ③ ロータリー財団への取り組み。
年次基金への寄付150ドル/人。 ポールハリスフェロー300人。
米山記念奨学会普通寄付 5,000円/人など。



青少年奉仕部門

原 泰久

青少年・奉仕部門について報告致します。2690 地区は、クラブ数 67クラブ(岡山39、鳥取13、島根15)で構成されています。



- ・青少年の奉仕活動の写真募集や、活動と一緒にいたり、表彰や奨励金の授与をします。
- ・交換留学生の実施
- ・地域と学生との多面的交流事業として大学での勉強や実験(化学)など
- ・一日寺子屋、自分を見つめると言うことで、座禅

教育・スポーツに関して

- 全国大会規模の少年ソフトボール大会
- 生徒への出前講座(講義)

環境美化に関して

- 清掃作業
- 宍道湖に葦を植え水質浄化

問題事項として、インターアクトクラブとローターアクトとの交流・援助など行ってきたが、会員の減少などにより存続していけない状況であるということが挙げられていました。